

## 十六 未組織大衆への注目

(四)未組織大衆の組織化——参照

我々は、すべての闘争に於て、常に廣汎なる未組織大衆の存在すること、その組織化の任務を有すること、を忘れてはならぬ。我々は、彼等の闘争への具體的動員、もしくは組織にまで誘ひ得ずとも、少くとも彼等をして我々の闘争に對して好意的注目を注がしむることは成功しなくてはならぬ。

一、彼等の好意的注目は、われ等の組織の將來の強大化を豫備するものであり

二、且つ我々の闘争を護る力である。勿論直接に我々を守る者は我々のみであるが、然し、その好意的注目は、われ等に對して彈壓の加へられる時、その彈壓に對する憎惡反抗に移り變るものであつて、之れは支配階級の好まざる處で結局彈壓を牽制する力である。

我々は我々の組織の強大化と、此の廣汎なる未組織大衆の好意的注目——支持——の中のみ最も有効な強力な、闘争を展開し得るのである。

三、だが、このことを我々の主張、乃至闘争を小ブル的に噴せしめることと、間違へてはならぬ。我々の闘争の目的、意義を大衆に徹底せしむることによつて必ず大衆の精神的支

持を獲得し得るのである。  
四、この意味に於て、ブルジョア新聞の利用は極力努められねばならぬ。

## 第四節 組織方針

### 一 労働者農民の同盟としての 労働者の組織に關する原則

一、我が黨は、言ふまでもなく、労働者農民の戰闘的同盟である。したがつて、我が黨の組織方針は、飽くまで、大衆闘争の效果的展開を目標として確立されるべきであつて、たゞ選挙のみを目標とするやうなものであつてはならない。それ故、黨支部の地域的區劃の如きも、選挙區によつて別けらるべきではなくて、日常闘争展開のための便宜が第一に考慮されるべきである。

二、本来、労働者農民の戰闘的同盟としての我々の組織はその最も完成された形に於ては、黨内に、労働者と、農民と無産市民との、各々の全國的同盟が確立され、それらが強固に結びつけられたものでなければならぬのである。そして、黨が或る特定の闘争題目を捕へて、闘争を卷起さうとする時

には、労働者と、農民と、無産市民とが、各々、労働者の、農民の、無産市民の、立場から、各自の全國的組織を通じて奮起せしめられなければならない。そして、一定地區に於ける労働者と農民と無産市民との共同闘争は、それら三つの組織から選出された「共同地區委員會」によつて統一的に指導されるべきである。

かゝる組織が完成された際には、黨の全國大會の如きも、地區からの代表者によつて構成されるのでなしに、労働者代表、農民代表、無産市民代表、等によつて構成されるに至るのである。そして、その時に始めて、我々は、労働者農民の戰闘的同盟としての眞に強固なる組織を確立し得た、と言ひ得るのである。

三、だが、さうした組織を今直ちに採用することには、多くの無理がある。我々は、なるべく近い將來に於て、さうした組織を實現せしめるために、その第一歩として、當面、先づ、労働者班(工場班)農民班(農村班)無産市民班(街頭班)の組織を確立することに努力すべきである。そして、支部並に支部聯合會等の組織は、極めて不徹底ではあるが、在來の通りの組織で、しばらく我慢すべきであらう。

## 二 労働者當面の組織方針

(第三節)青年の組織確立——参照

左に我々の當面の組織方針を略述する。(支部並に支部聯合會の組織は、舊労働農民黨のそれと殆んど同じ性質のものであるから、極く簡単に述べる。)

### (1) 支部

一、黨組織の基本的單位は支部である。支部はその地方の地方的闘争題目のために獨力を以て闘争し得る力と組織をもち、又、全國的闘争に於てもその地域に於ける責任を果たし得る力と組織を持つて居らねばならぬ。支部を組織する地域の廣狭も、かゝる見地から決定せられねばならぬ。

二、支部に於ては必ず工場班、農村班、街頭班等が組織されねばならぬ。そして、支部所屬の全黨員は、必ずそれらの班に編入せしめられねばならない。(班の組織と任務に關しては後で述べる。)

三、支部所屬の青年黨員は、必ず支部青年部に組織され青年部としての活動に従事せねばならない。

### (2) 支部聯合會並に地方協議會

一、支部聯合會の組織並に任務は我々の常識であるから議論の要を見ない。只、新労働黨の支部聯合會には、必ず、支部青年部の活動を統一するところの青年黨員の組織が持たれねばならぬことが注意されるべきである。